

**少しの勇氣と小さな力、仲間と共に地域を守る!!**  
 藤沢市消防団では、随時消防団員を募集しています。

個人事業主・会社員はもとより、学生や主婦の方々男女問わず心身共に健康で、地域貢献活動に興味がある方の入団をお待ちしております。  
 消防団は地域に根差した消防組織であり、災害発生時はもちろん、地域の防災訓練などで火災予防啓発等も実施しています。  
 それぞれライフスタイルがある中、自分たちが防災・減災に向けてできることを仲間と助け合いながら活動してみませんか？  
**自らの命を守り、地域の仲間を守りましょう!**

## 入団資格・処遇

**18歳以上で市内に在住、在勤又は在学している方** ※1  
 (隣接市町に在住で活動に支障がないと消防団長が認める方も可)  
※1 藤沢市消防団に関する条例 本則第2条に基づきます。

消防団員は地方公務員の非常勤特別職という身分で、報酬として基本報酬、出勤報酬が支払われます。また、5年以上在団し、退団した場合は退職報償金が支払われます。

消防団活動時の怪我等に関しては公務災害として補償されています。



【藤沢市消防団報酬額】(令和3年度改定)

基本報酬	年間報酬	36,500 (一般団員)
出勤報酬	災害対応	1,700/1時間
	訓練等	1,400/1時間

消防団入団時における辞令交付

単位は円

## 藤沢市消防団の組織図

団長	副団長	分団	地区	人数
団長	副団長	第1分団	江の島地区	30名
		第2分団	片瀬鼻地区	20名
		第3分団	片瀬地区	20名
		第4分団	鶴沼海岸地区	20名
		第5分団	本鶴沼地区	15名
		第7分団	南藤沢地区	15名
		第6分団	村岡地区	15名
		第8分団	西富地区	15名
		第9分団	本町・善行地区	15名
		第10分団	辻堂地区	20名
	副団長	第11分団	明治地区	15名
		第12分団	大庭地区	15名
		第14分団	西俣野地区	15名
		第15分団	亀井野地区	15名
		第16分団	亀井野地区	15名
		第17分団	円行地区	15名
		第18分団	下土棚地区	15名
		第13分団	石川・天神町地区	15名
		第19分団	遠藤地区	15名
		第20分団	遠藤地区	15名
	副団長	第21分団	高倉地区	15名
		第22分団	高倉地区	15名
		第23分団	長後地区	15名
		第24分団	長後地区	15名
		第25分団	長後地区	15名
		第26分団	瀬郷地区	15名
		第27分団	打戻地区	15名
		第28分団	宮原地区	15名
		第29分団	葛原地区	15名
		第30分団	用田地区	15名
		第31分団	葛原地区	15名

## おもな活動内容

- 災害活動 火災や地震・風水害などが発生した際、藤沢市消防局と連携して迅速な防御活動を行います。
- 防災啓発活動 地域の防災訓練指導をはじめ、火災予防運動・歳末火災特別警戒などで広報・警戒活動を行います。
- 教育・訓練 災害活動で基本となる知識と、技術の習得及び災害対応力を高めるための訓練を定期的に行います。



イベントによる消防団 PR コーナー



自然災害対応訓練

## 主要な年間行事

4月	新入団員・新任分団長研修
5月	機関員研修
	水防対策訓練
6月	風水害活動訓練
7月	藤沢市消防団消防操法大会
	神奈川県消防団消防操法大会(隔年)
8月	消防団家族ふれあいレクリエーション
9月	総合防災訓練
	風水害対応訓練
10月	署所合同訓練
11月	秋季火災予防運動
	実災害想定訓練
12月	歳末火災特別警戒
1月	消防出初式
	文化財防火デーに伴う消防訓練
2月	救助資機材取扱訓練
	春季火災予防運動
3月	表彰伝達式

この他、月2回の定例資機材点検や、操法訓練・地区防災訓練などを実施・参加しています。



# 藤沢市

我が街を災害から守る

# 消防団



藤沢市消防団のご案内

お問い合わせ先

**藤沢市消防局 警防課 (消防団担当)**

藤沢市朝日町1番地の1(藤沢市総合防災センター内)

☎0466-50-3577 FAX0466-22-8184



藤沢市消防団

検索

藤沢市消防団  
藤沢市消防局

Fujisawa City Volunteer Fire Corps

藤沢市消防団は、市内に1団本部・31個分団からなる組織として各地域に配置され、定数504人で構成されている非常勤特別職の地方公務員です。

生業のかたわら、ひとたび災害指令を受信した場合には、それぞれの分団器具置場に集結し、装備を整え消防車で出動します。また、防災訓練などに参加して火災予防啓発を行い、平常時から地域の安全・安心を守る活動をしています。近年では、女性消防団員や学生消防団員も地域貢献活動の一環として入団しています。



## 消防団の災害対応能力向上に寄与する救助資機材



火災や風水害発生時に使用する一般的な資機材はもとより、大規模災害に備え救助資機材を全31個分団に配備しています。実災害時に迅速・的確な救助活動を行うために、それらの資機材を駆使した訓練を定期的に行っています。



### 手動式油圧コンビツール

手動式油圧により先端部分を開閉することによって、金属などを切断または拡張し、閉じ込められている要救助者を救助するための間隙をつくる資機材です。持ち運びが容易で、車両のドアなどの拡張・切断をはじめ、鉄筋や鉄パイプの切断、倒壊した重量物を支えることもできます。



### ポートパワー（油圧式救助器具）

建造物の倒壊などによる救助活動に使用します。数名が力を合わせても動かないコンクリートのガレキを超高圧油圧により持ち上げることができます。電気なども必要無くライフラインが遮断された状況でも繰り返し使用できます。また、パーツの組み合わせで様々な状況に対応します。



### エンジンカッター

大径切断ディスクと高出力エンジンの搭載によって可搬式の切断工具の中で最も高い切断能力を持ちます。切断対象物に適合する切断ディスクに交換することにより、金属・コンクリートなどの切断作業を行うことができます。



### ストライカー（携帯用コンクリート破壊器具）

狭い場所などで救助のための破壊活動を行わなければならない場合などに、一人で操作することができる手動式破壊器具です。先端の鋼鉄製の工具を状況に応じて素早く交換でき、コンクリート・レンガブロックの壁・板金属を打ち砕く他、かんぬき・錠前・止め金具の破壊、自動車のドアや防火扉のこじ開けなど広い用途で救助・破壊活動に活用できます。



### 分団消防車（小型動力ポンプ付積載車）

消防団員が火災・風水害・警戒などで出動する際に活用する車両です。さまざまな災害に対応する資機材を積載でき、機動性に優れ、狭い道路にも進入できます。車両が通れない場所では、持ち運びが可能な小型動力ポンプを車両から降ろし、防火水槽・消火栓・河川などを水源として放水や中継送水による消火活動が可能です。

## 消防団員からのメッセージ

### 第1分団（江の島地区）分団長 二見 将幸（商店経営）



消防団は、家業を継ぐにあたって、周囲の方々からの勧めもあり、地元に貢献するために入団しました。私が所属している第1分団は、江の島という地域の特性上、各団員の防災に対する意識が非常に高く、強いチームワークをもって住民の安全・安心を守るために活動しています。消防団は、市民の安全・安心を守る地域防災の中核的役割を担う無くてはならない組織だと思います。



### 第10分団（辻堂地区）団員 川延 和美（障がい者福祉施設 支援員）



町内が一緒の分団長に入団を勧められ、何もわからない消防団活動は不安でしたが、期待の言葉に背中を押され入団を決意しました。団員として女性でもできることを見極め、災害現場では周囲の安全確保などに努めたり、防災キャンペーンなどの啓蒙活動では、皆さんが防災に興味を持っていただけるよう知恵を絞って活動しています。男性が多い消防団ですが、女性でも活動できることがあると分かりました。私たちと一緒に活動してくれる女性消防団員が増えてくれると嬉しいです。



### 第8分団（村岡地区）団員 国分 悠也（大学生）



生まれ育った藤沢市が大好きで、何か貢献したいと考えていたところ、友人の家族が消防団員であった話を思い出して興味がわき、お世話になった地元の方々へ積極的に防災に寄与できると感じ入団を決意しました。平時はおもに月2回の定期器具点検をはじめ、訓練・歳末火災警戒、自治会などで火を取り扱うイベントの警備を行っています。また、火災や台風などによる災害に対し、藤沢駅周辺の市街地を含む地域住民の安全のため出動・警戒を行っています。



### 第25分団（長後地区）分団長 福島 直彦（農業）



長年、自営業を営んでおり先祖代々消防団に入っていたので、自分も入団しました。地元での火災や風水害などによる出動・警戒をはじめ、年間を通して器具点検や消火活動のための消防用小型ポンプの取扱い及び消火器具操作の手順を習得する訓練などを行っています。消防団に入って仲間を作り、地域貢献のために一緒に頑張りましょう！

